



同社提供の廃材で制作した作品

(株)葵製作所（東京都八王子市、長谷川薫社長）は昨年9月、東京造形大学（同市）に学生が作品

り、長谷川社長が「本業以外に何かできないか？」と考え産学連携と活性化・地域貢献、そし

領域1年製の2021年度後期授業「金工」の1環として、昨年9月にトラック1台分の積載量

（ミッド）が好評で、ホームセンターで取扱いの少ない素材を入手出来て学生達は創作意欲が刺激されたようだ。

葵製作所 東京造形大学に廃材提供

制作に使用する材料として金属廃材を提供した。

て社員が「自社・業務が社会に貢献している実感を持ってもらう事」を目的に、昨年夏に同学に打

（約2000〜3000キログラム）を提供した。

提供時には角材（四角柱）・棒材（円柱）の他、特に板物（厚さ約1〜2

術家志望の学生が材料に触れる機会が増えて金工作家になったり、多くのアート作品を生み出し、話している。

今回の取り組みは元々同学出身者と交流があ

診し承諾され、彫刻専門

柱）・棒材（円柱）の他、特に板物（厚さ約1〜2

アートの作品を生み出し、

話している。

あるいは産業のプロダクトデザイナーになる事もあり、世の中に広まって金属加工業の地位向上や産業活性化が期待できる事を考えれば意義ある事。いずれは工場見学も考えており、可能なら業務としての加工・芸術としての加工の相違点を理解する機会としたい」と話している。